



今年一月「青森まちなかマーケティング」市民委員会が発足しました。慶応大学と連携しながら企業・行政にも協力をいただき、さまざまな手法で、まちなかの役割と生活価値を調

査、より楽しく過ごせるまちにするためのしくみや取り組みを考えます。当面は、住んだり働いたり利用したり商いをするそれぞれの立場で、まちなかの良さ(ハッピーネスと呼んでいます)をひとつでも多

まちなか市民委始動(青森)

く見つけ出すことから始め、皆さんが持つたくさんハッピーネスの情報をいただくことで共有を図りま

す。まちなかの良さ、便利だと思つこと、感じる幸福感、わたし流の楽しみ方、居心地の良さ、失いたくないもの、分ち合いたいもの、取り戻したいもの、教えてあげたいものなど、その人にとつてのプラスの生活価値を集めてまとめま

「ハッピーネス」探そう

さらにそれらを生かす可能性を探り、誰もが使いやすい楽しい住みたいまちにしようというのが目的です。そのためのまずは最初の段階、できるだけ大きく、茶話会を開いてお話を



「茶話会ワークショップ」の様子

なずきがあって、とてもワ

が、二十七日にはアウガ五をまじめにできるだけたくさんから始めました。シンポジウムも開きます。ていませ

（青森市新町商店街振興組合青年部長、青森市まちづくりあきんど隊、青森まちなかマーケティング市民委員会代表・工藤健）

※この記事は、東奥日報の許諾を得て掲載しております。無断転用・複写を禁じます。